

飛騨高山 めでた通信

vol. 7
平成31年
春号



ユネスコ無形文化遺産「高山祭の屋台行事」

高山祭は、春の「山王祭」と秋の「八幡祭」の2つの祭をさす総称で、300年以上の歴史があります。4月14日、15日には春の訪れを告げる「山王祭」が斎行されます。

また、今年には新元号制定を記念し5月1日、高山祭屋台の特別曳き揃えが行われます。豪華絢爛な祭屋台をご覧いただくとともに、祭屋台を支える匠の技と受け継がれる人々の思いにも触れてください。

ご挨拶

平成30年度も会員の皆様のご協力のもと、ファンクラブを運営することができました。改めまして、御礼申し上げます。

さて、これまで総務部広報情報課が事務局として会員の皆様と交流させていただいておりましたが、平成31年度より、企画部ブランド戦略課が事務局を務めさせていただきますこととなりました。

平成28年の立ち上げからこれまでの間、会員の皆様とのさまざまな交流を通し、高山を応援していただけたことは、誠に感謝に耐えません。

事務局としての関わりは区切りとなりますが、会員の皆様におかれましては、これまでと変わらずお付き合いいただきたいと思います。願っております。

末筆になりましたが、皆様のご健勝とご多幸を心よりご祈念申し上げます。ご挨拶いたします。

飛騨高山めでたの会

事務局長（広報情報課長）

挟土 利平



飛騨高山めでた通信 vol.7 (特別会員・サポート会員会報誌)

飛騨高山めでたの会事務局
(高山市広報情報課内)

〒506-8555 岐阜県高山市花岡町2丁目18番地
TEL (0577) 35-3134 FAX (0577) 35-3174
MAIL : kouhou@city.takayama.lg.jp

めでたの会事務局では、より良い会・良い高山市にするため、アンケートを実施しています。ご協力をお願いします。



関東に続き、中部・関西でも発足
中部めでたの会・関西めでたの会

昨年7月に発足した飛騨高山「めでたの会」の関東グループ「関東めでたの会」に続き、11月に「中部めでたの会」が、そして本年2月に「関西めでたの会」が発足し、それぞれ交流会が行われました。



中部めでたの会のみなさん

本会は、関東同様、会員相互の交流をより深めていたたこうと発足したもので、各地方に住まいの特別会員やサポート会員が参加し行われました。交流会では、國島芳明市長より、めでたの会への思いが語られた後、参加者の賛同により本会が発会すると、飛騨の地酒で乾杯が行われ、郷土料理に舌鼓を打ちながら、郷土への思いに会場が盛り上がりま



した。



特別会員市内視察
五色ヶ原の森冬山ツアー

めでたの会特別会員の市内視察が2月23日、高山市丹生川町でありました。この日、目指したのは冬の乗鞍山麓五色ヶ原の森。一行はまず、丹生川町にある



「ほおのき平スキー場」を出発しリフトで山頂へ。その後スノーシューを履いて、動物の痕跡や植生、飛騨山脈ジオパーク構想について、森の案内人のガイドを聞きながら五色ヶ原の森を散策しました。

昼の休憩ポイントでは、会員のみなさんでテントを立て、火をおこし、草餅やみたらしだんご、パンを焼いて楽しみました。大自然の中での食事は格別の味でした。また、山の斜面を使って、そり滑りも。夜はスキー場のロッジで懇親会を開催し、ゲレンデでスカイランタンを舞い上げました。

同会では特別会員を対象に、「ちよっと知らない高山」の魅力と再発見をテーマに年2回市内視察を開催しています。



関西めでたの会のみなさん



そのほか、交流会では、飛騨の祝い歌「めでた」の唱和や郷土産品が当たるクイズやじゃんけん大会が行われ、楽しいひと時を過ごしました。交流会では、以前高山にお勤めされており何年ぶりかにお会いできた方、はじめてお会いす

る会員の方など、たくさんの方に参加いただき、高山を通してご縁が広がっていくことを嬉しく思います。今年も開催しますので、ぜひご参加ください。



めでたの会
 Facebookから
 地域の話
 をおさら

アクセス数の多い話題は!?

飛騨高山めでたの会では、高山の旬な話題をフェイスブックで発信しています。最近の投稿の中で「いいね」が多かった投稿を紹介します

1位

いいね!
 568
 友情を誓い
 ～白線流し～



2位

いいね!
 546

神秘的な
 ダイヤモンドダスト



3位

いいね!
 531
 久々野の手作り
 アップルパイ

